

平成29年7月6日

各位

会社名 トレイダーズホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 金丸 勲
(JASDAQ・コード 8704)
問合せ先 取締役 加藤 潤
(TEL 03-4330-4700 (代表))

当社出資先である株式会社MARS Companyによる株式会社須藤物産との 技術供与及び業務提携に関するお知らせ

当社は、平成29年6月29日付『当社子会社と株式会社MARS Companyとの共同出資による新会社設立及び農業のテクノロジー化を推進するアグリテックビジネス強化に向けた支援の開始に関するお知らせ』にて、公表いたしました当社子会社トレイダーズインベストメント株式会社（以下、「トレイダーズインベストメント」といいます。）と株式会社MARS Company（以下、「MARS Company」といいます。）との共同出資による新会社設立に関連して、今後、当該設立会社が営む予定の非熱電場技術を農業分野に応用した実証研究・事業を展開するにあたり、このたびMARS Companyが株式会社須藤物産（以下、「須藤物産」といいます。）と技術供与及び業務提携を行なうこととなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 経緯・目的

MARS Companyは、生鮮食材の輸送や冷蔵保管において、食材を高鮮度のまま長期間維持する独自の冷凍・冷蔵・製氷技術を有しておりますが、このたびの共同出資による設立会社においては、MARS Companyの保有する技術のうち、非熱電場技術を利用して、農作物の生育の各段階に利用（応用）させる諸研究と実証事業を行うプロセスを経た後、農業関連事業者・団体や各農家、また農業製品の製造メーカー等へ同社技術・製品等を広めていく事業を展開する予定です。

農業（Agriculture）と技術（Technology）を組み合わせた「アグリテック（Agritech）」は、グローバルな規模の自然環境問題や農業・食糧問題に対して、効率的・安定的な食糧（農産物）生産を実現しうる可能性を秘めた事業分野として近年、その注目度が高まっております。

須藤物産は、平成27年にイスラエル製ハウス栽培用の人工知能（AI）システムを国内で初めて大型温室で導入し、それまでの日本農業の常識を覆す画期的な人工知能（AI）制御による大型温室ハウス栽培を開始しているほか、オリジナルAI複合環境制御の開発及び植物内の成分の分析技術を有して医療分野への展開など、最先端のテクノロジー技術を駆使したスマート農業を展開しており、世界各国から視察団を受け入れるなど、アグリテックビジネスにおける先駆的な企業です。トレイダーズインベストメントはベンチャー企業の成長を支援するアクセラレーターとしてこのたびの技術供与及び業務提携を仲介し、MARS Companyの非熱電場技術を、須藤物産の長野県上田市武石地区にある大型トマト農場において導入していただき、今後、設立会社で行う予定の実証研究や共同事業化に向けた各種取り組みを後押しする予定です。

また、この須藤物産の大型トマト農場において、株式会社Liquidの100%子会社である株式会社Recreation Labが、農業に特化した画像解析技術を用いた共同研究も併せて実施する予定です。

2. 須藤物産の事業の特長

須藤物産は、これまで世界20ヶ国の農業を研究してきたことに加え、最先端の様々なテクノロジーや科学技術を農業に応用する実験を積み重ねてきており、現在は「高糖度フルーツトマト」の生産をメイン事業としています。通常、一般的なトマトの糖度は約5.0度、一般的なフルーツトマトは約8.0度といわれていますが、須藤物産では、平均糖度が10度、最高糖度は20度を記録しています。

これまで、天候や土壌の状態、病害虫などの自然要因に大きく左右されていた農業のスタイルを一新し、前述の人工知能（A I）システムを利用し、フルクローズ型の温室ハウス内の各所に設置されたセンサーを基に、栽培・生育環境に最適となる温度や湿度となるよう人工知能（A I）が現状を把握したうえで、自動で調整・コントロールし、さらに水や肥料など投入量について自動化されており、肥料については自走式のロボットによる化学薬品ではない、自然回帰の薬を広大なハウス内で自動散布し、無農薬化による病害虫防除（IPM）体制も確立しています。また、日々の状況に関する経験値を重ねることでオリジナルA I自体も成長し続けています。

通常、温室ハウス栽培では空調に多くのエネルギーを消費する中、須藤物産では太陽光や地中熱、地下水など、地産地消型の再生可能エネルギーを積極的に栽培過程に活用することで、循環型農業も推進しており、農業のテクノロジー化の強化と併せて、持続可能な農業（サステナブル・アグリカルチャー）への取り組みも実践しています。

須藤物産は、生産した農作物の徹底した成分分析（ウェアラブル分析器開発）研究を業界に先駆けて実施しており、元素レベルの調査によるビッグデータ情報を有し、こうした情報に裏打ちされた栽培方法のノウハウも蓄積しております。例えばカリウム、ナトリウム、窒素やリン酸など様々な元素・成分を、栽培時の補給過程において、その含有量を高くしたり低くしたり自在にコントロールすることで、医療系の分野で必要不可欠な農作物（医療ケア野菜・果実）の大量生産を目指し、今後病気の予防に繋がる食品への需要増加に対応する高機能野菜として独自ブランド化を推進することで、内臓疾患を抱える患者様にご提供できる食物の生産、また、高齢化に伴う医療費増大の問題や生活習慣病をなくすためのセルフメディケーション（自己による健康維持管理）にも適応できる次世代型植物工場として、医療分野に「食」の観点から革新をもたらす企業となるべく取り組んでいます。

現在は高齢化に伴う疾患を軽減、天然素材の要素を植物肥料に応用する試験・研究・検証を国内の大学と共同で進めるなど、テクノロジーだけでなく、科学を用いた農業の新しい可能性と事業の成長性を視野に入れた活動も積極的に行っています。

最近では、2020年の東京オリンピック開催時に提供される食物は調達基準があり、日本の農作物は高い窒素含有量がある等の理由から、国産の農作物はごくわずかししか提供できない可能性が表面化し問題となっています。須藤物産は、この調達基準を満たす持続可能性に配慮した農作物（例えば低窒素の農作物など）の生産を安定的・効率的に進め、今後、栽培工程での安全管理、農薬・肥料の厳格な使用制限・水や土壌への環境影響評価を含めた農産物生産の国際認証であるグローバルGAP及びHACCPを取得予定です。

トレイダーズインベストメントとMARS Companyは、共同出資して設立する予定の株式会社MARS AGRITECH（マーズアグリテック）を通して、非熱電場技術等のテクノロジーを活用した農業事業（アグリテック・ビジネス）、及び関連製品の研究、製造・販売等を開始いたします。このたびのMARS Companyによる非熱電場技術等を用いた須藤物産との技術連携を高めることで、最先端テクノロジー技術を農事業に応用する実証研究を重ね、土壌菌の活性化による土地の自然力回復や種子の発芽・発育の効率化を図り、また、農作物の生産者にとっては、安定的な収量の拡大及び土地改良費用の低減といったメリットの享受と、品質品位を損なわない促進栽培による収益性向

上に向けた取り組みを進めてまいります。

3. MARS Companyの概要

- (1) 商 号 株式会社MARS Company
- (2) 所 在 地 群馬県高崎市問屋西一丁目1番2
- (3) 代 表 者 代表取締役 大野 正樹
- (4) 事 業 内 容 冷蔵・冷凍・製氷・解凍装置の製造・販売事業等
- (5) 設 立 年 月 日 平成18年7月7日
- (6) 資 本 金 3,500万円
- (7) 株 主 未公開企業のため、公表しておりません。
- (8) WEBサイトURL <http://www.mars-company.jp/>

4. 須藤物産の概要

- (1) 商 号 株式会社須藤物産
- (2) 所 在 地 長野県上田市武石下本入757
- (3) 代 表 者 代表取締役 田中 直美
CTO（生産技術最高責任者） 田中 明
- (4) 事 業 内 容 農作物の生産・販売・加工・技術指導、医療ケア野菜の研究・開発、
野菜栽培用温室の企画・設計・運営等
- (5) 設 立 年 月 日 平成15年12月10日
- (6) 資 本 金 5,300万円
- (7) 株 主 未公開企業のため、公表しておりません。
- (8) WEBサイトURL <http://www.sudobussan.co.jp/>

5. 設立会社の概要(予定)

- (1) 商 号 株式会社MARS AGRITECH（マーズアグリテック）
- (2) 所 在 地 群馬県高崎市問屋西一丁目1番2
- (3) 代 表 者 代表取締役 大野 正樹
- (4) 事 業 内 容 非熱電場技術等のテクノロジーを活用した農業事業（アグリテック・
ビジネス）、及び関連製品の研究、製造・販売等
- (5) 設 立 予 定 日 平成29年7月
- (6) 資 本 金 1,000万円
- (7) 株 主 株式会社MARS Company（90%）
トレーダーズインベストメント株式会社（10%）

以上

本ニュースリリースの内容に関するお問合せは、
下記までお願い致します。

トレーダーズホールディングス株式会社（IR担当あて）
電話：03-4330-4700(代)
メール：ir@tradershd.co.jp